

# 神宮 明治祭式

## 卷之四

### 皇大神宮祭典

神御衣奉織始祭九月 神御衣奉織鎮謝祭九月

神御衣祭九月 興五神祭九月

御卜九月 神嘗祭由貴大御饌奉幣

天長節大御饌 新嘗祭大御饌奉幣

興五神祭十二月 御卜十二月

月次祭由貴大御饌奉幣十二月

### 附錄

一月十一日御饌 孝明天皇遺拜

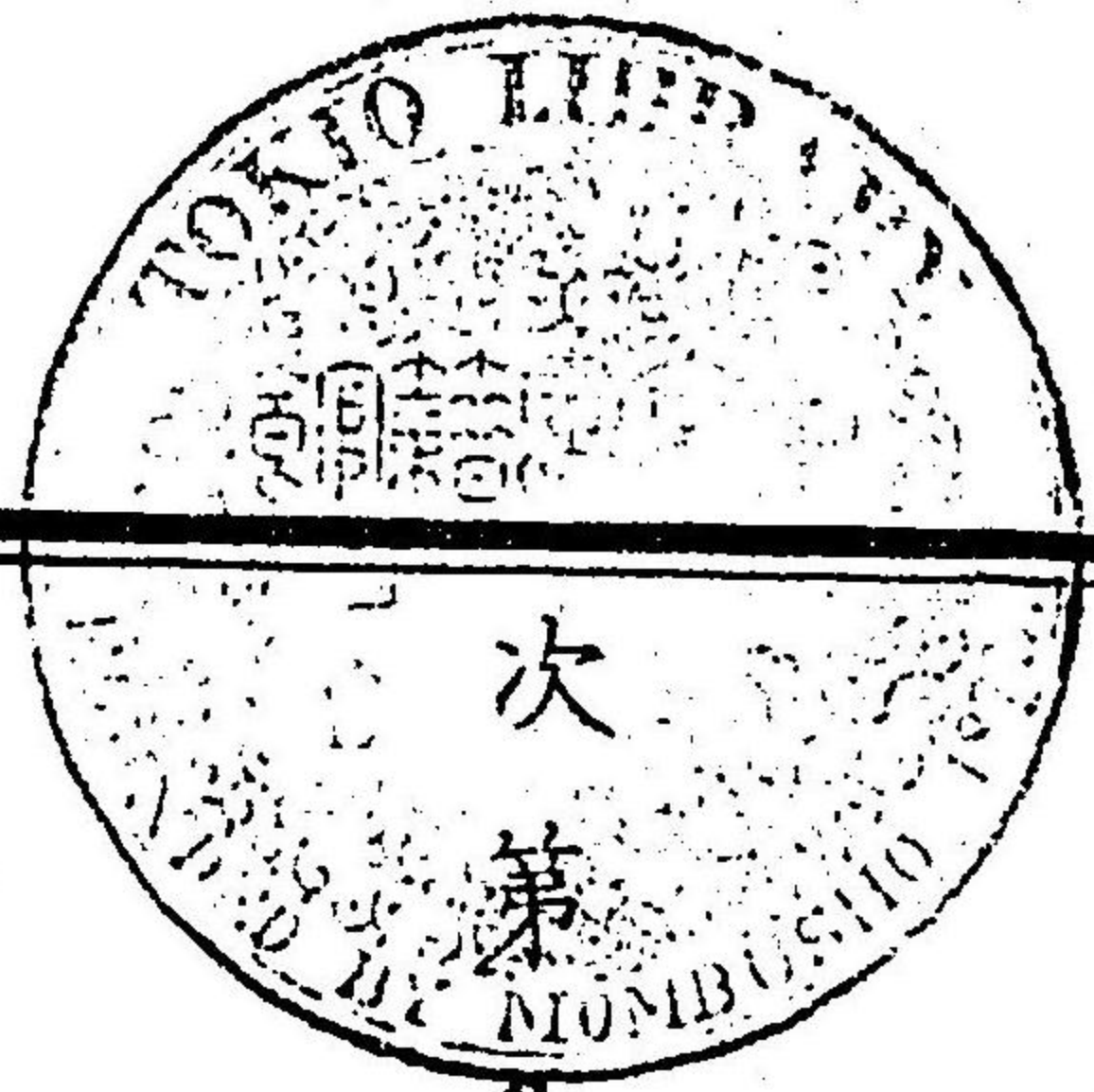
大祓 神武天皇遺拜

東京圖書館

東京圖書館				
一	二	六	七	
九	一	架	函	類
冊	号			



東京圖書印



神官明治祭式卷之四 皇大神宮之部

九月一日

皇大神宮并荒祭官和妙荒妙神御衣奉織始  
祭 中祭

次第各四月神御衣奉織始祭ニ同シ

十三日

皇大神宮并荒祭官和妙荒妙神御衣奉織鎮  
謝祭 中祭

次第各四月神御衣奉織鎮謝祭ニ同シ

神官明治祭式卷之四

。一

神官明治祭式卷之四



十四日

皇大神宮并荒祭宮神御衣護送

次第四月神御衣護送ニ同シ

同日

皇大神宮并荒祭宮神御衣祭 大祭

次第四月神御衣祭ニ同シ

十五日

興玉神祭 中祭

次第六月興玉神祭ニ同シ

第一鼓午後三時 第二鼓午後四時 第三鼓午後五時

後五時

同日

御卜

次第六月御卜ニ同シ

第一鼓午後五時 第二鼓午後六時 第三鼓午後七時

自十六日至廿五日



皇大神宮并諸別宮諸神神嘗祭由貴朝夕大

御饌 大祭

次第六月月次祭由貴大御饌ニ同シ奏樂ハ伶人之ヲ勤仕ス

十七日

皇大神宮神嘗祭奉幣 大祭

第一鼓 午後四時

祭主以下參集 權禰宜以上木綿鬘ヲ著ク

使屬掌典神部參著

第二鼓 午後五時

祭儀ノ諸具ヲ辨備シ庭燎ヲ設ク

第三鼓 午後六時 儀伏兵第一鳥居内ニ整列官幣辛櫃出門ノ際捧銃喇叭ヲ奏ス次テ前後ヲ護シ進行ス

權禰宜二員大床東西ニ豫燈火ヲ點ス

官幣辛櫃ヲ第二鳥居内正中ニ舁立ツ松明前行 掌典

神部相副テ進列ス東上北面

次使屬同鳥居外ニ進列ス東上北面權主典一員副從

ス

次祭主以下同鳥居外ニ進列ス東上北面○儀伏兵同鳥居内外ニ整列ス



次使祭主大少官司卜對揖ス

次主典一員進テ大麻ヲ揮リ官幣以下ヲ清ム先

幣次使次属次 ○ 此際儀仗  
掌典次神部 ○ 兵捧銃

次權主典一員進テ御鹽ヲ灑ク次第大麻ノ如シ

先是主典第一鳥居内被所ニ於テ修被ノ後

權主典相共ニ大麻御鹽ヲ取り豫第二鳥居

内ニ候ス西上

次官幣辛櫃ヲ四丈殿南ノ戸ヨニ昇居ル葉薦ヲ

掌典神部相副テ進列ス北西上

先是官掌同殿ニ高案ニ脚ヲ設ク葉薦ヲ

次使属同殿南ノ戸ヨニ進列ス掌典ノ

次祭主以下同殿西ノ戸ヨニ進列ス祭主以下北

以下北 ○ 此際儀仗 兵板垣御門外石  
上西面 ○ 階ニ整列 捧銃喇叭ヲ奏ス

次神部辛櫃ヲ開ク掌典進テ官幣及送文ヲ取出

シ案上ニ置ク東ハ皇大神宮御料 畢テ列ニ復

ス直丁辛櫃ヲ殿外南方ニ  
撤シ官掌葉薦ヲ撤ス

次主典一員進テ送文ヲ取り祭主大少官司ニ進

ム各披見畢テ主典ニ授ク

次主典ニ員幣案ノ南北ニ進ニ送文ヲ讀ニ官幣

ヲ檢シ畢テ列ニ復ス



次正權主典各一員荒祭官官幣ノ高案ヲ捧ケ殿

中南方ニ移シ列ニ復ス官掌業薦ヲ敷改ム

次掌典幣案ノ側ニ進ム

次權主典重々御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次主典二員幣案ヲ捧ケ北ノ戸ヲ出ル此際重々

御門ヲ經テ祭舎ニ安ス官掌業薦ヲ敷ク掌典副テ進參

幣案ノ東方ニ候シ主典ハ東西ニ分候ス

次使以下北ノ戸内玉垣御門外東掖幄舎ノ版ニ

著ク北上面次祭主以下北ノ戸同西掖幄舎ノ版ニ著ク北上面

次伶人同御門下東掖ノ版ニ著ク北上面

次權主典御鑰ヲ大官司ニ進ム豫御鑰櫃ヲ内玉垣御門下西掖ニ

安ス業薦ヲ敷ク

次大少官司階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ

畢テ版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間奏樂諸員起立此際儀仗共捧銃喇叭ヲ奏ス

次祭主階ヲ昇リ殿内ニ祀候畢テ版ニ復ス

次權禰宜二員階ノ第一級ニ候ス主典業薦幣案

ヲ傳フ權禰宜大床ニ設畢テ階下ニ分候ス

次禰宜二員階ヲ昇リ案前ニ候ス

申

五



次主典官幣ヲ次第ニ捧ケ權禰宜ニ傳フ權禰宜

階ヲ昇リ禰宜ニ傳フ禰宜之ヲ案上ニ奠ス此際

宮掌祭舍ノ案薦ヲ撤ス但豫參入東西ニ介候ス

次掌典祭舍ヲ退テ帷舍ノ版ニ著ク屬ノ次

次正權禰宜階ヲ降テ版ニ復シ主典ハ階下ニ候ス

次屬祭文ヲ使ニ附ス

次使進テ祭舍ノ版ニ著ク

次祭主大少官司正權禰宜進テ祭舍ニ列ス北西上方

東

次使祭文ヲ奏ス

官掌松明ヲ把テ之ヲ燭ス

此間諸員起立此際儀仗奏ス

次少官司使ノ前ニ進ニ祭文ヲ請テ列ニ復ス

次使版ヲ退キ傍ニ候ス西面

次大官司祭主ノ前ニ到リ祝詞文ヲ請ケ版ニ進

ニ奏シ畢テ列ニ復ス

官掌松明ヲ把テ之ヲ燭ス

次祭主階ヲ昇リ殿内ニ候ス

次大少官司階ヲ昇リ殿内ニ祭文ヲ納ム

次禰宜階ヲ昇リ官幣ヲ捧ケ殿内ニ入テ少官司



進ム大宮司之ヲ納ム

次大少宮司御幌ヲ整理ス

次權禰宜素薦ヲ撤ス主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次祭主殿ヲ降テ使ニ反命ス

次使祭主版ニ復ス

次禰宜殿ヲ降テ版ニ復ス主典以下從テ版ニ著ク

次大少宮司殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ

此間奏樂諸員起立此際儀仗共捧銃喇叭ヲ奏ス

次大少宮司版ニ復シ大宮司御鑰ヲ權主典ニ授ク

次使以下一拜帷舎ヲ退テ中重ノ版ニ著ク西北面上

次祭主以下一拜同所ノ版ニ著ク祭主以下東上北面主典以下

北面上東面

次宮掌内玉垣御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク一脚ハ

ノ料一脚ハ判任ノ料各業薦ヲ敷ク

先是宮掌太玉串ヲ高案ニ具シ業薦ヲ敷クハ重

賢木鳥居内ニ候ス西方東面

次使以下次第ニ進テ太玉串ヲ受ケ御門下ノ案

上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次祭主大少宮司正權禰宜太玉串ヲ奠ス前儀ノ

如シ



次祭主以下奉拜八度拍手兩端。○儀伏兵并禮

次權主典重々御門ヲ圍ツ

次使以下退下。○儀伏兵并禮

同日

荒祭官神嘗祭奉幣

正官御料ノ官幣四丈殿ニ於テ點檢畢ノ後正權

主典各一員官掌二員外玉垣西御門ヲ經テ官

幣ノ辛櫃ヲ護送ス松明前行

次官幣辛櫃ヲ御門外東掖ニ昇居ル葉薦ヲ敷ク

次官掌御門下ニ高案ヲ設ク葉薦ヲ敷ク

次官掌辛櫃ヲ開ク權主典官幣ヲ取出シテ案上

ニ置ク

次官掌御門ヲ開ク豫御幌ヲ懸設ク

次各御前ニ候ス

正官祭儀畢テ使以下進參松明前行

次祭主大少官司正權補宜各一員進參松明前行

次各祭舎ノ版ニ著ク使以下西上北面祭主以下東上北面主典以下北上東

面

先是主典大床東西ニ豫燈火ヲ點ス



次權主典幣案ヲ階下東掖ニ移ス葉薦ヲ敷ク

次權主典御鑰ヲ禰宜ニ傳フ豫御鑰櫃ヲ御門外西掖ニ安ス葉薦ヲ

敷ク

次正權禰宜階ヲ昇リ御扉ヲ開キ御幌ヲ褰上シ

畢テ版ニ復ス御鑰ハ大床ニ安ス

此間各起立

次主典階ヲ昇リ大床ニ候ス權主典葉薦幣案ヲ

傳フ主典之ヲ設畢テ階下ニ候ス

次權禰宜階ヲ昇リ案前ニ候ス

次主典官幣ヲ捧ケ權禰宜ニ傳フ權禰宜之ヲ案

上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

此際官掌階下ノ案薦ヲ撤ス

次少官司階下ニ進ニ祝詞ヲ奏シ畢テ版ニ復ス

官掌松明ヲ把テ之ヲ燭ス

次禰宜階ヲ昇リ殿内ニ候ス

次權禰宜皆ヲ昇リ官幣ヲ捧ケ殿内ニ入テ禰宜

ニ傳フ禰宜之ヲ納ム

次正權禰宜御幌ヲ整理ス

次主典案薦ヲ撤ス權主典之ヲ傳フ初儀ノ如シ

次正權禰宜殿内ヲ出テ御扉ヲ闔ツ



此間各起立

次禰宜階ヲ降り使ニ反命シ畢テ版ニ復ス

次權禰宜版ニ復シ御鑰ヲ權主典ニ授ク

次宮掌御門下ニ高案ニ脚ヲ設ク一脚ハ勅奏任ノ料一脚ハ判

任ノ料各葉薦ヲ敷ク

次宮掌太玉串ヲ高案ニ具シ業薦ヲ側ニ候ス方西

次使以下祭主大少官司正權禰宜次第ニ進テ太

玉串ヲ受ケ案上ニ奠ス其儀正官ノ如シ

次谷奉拜八度拍手兩端

次宮掌御門ヲ闔ツ各退下

自十八日  
至廿五日

諸別宮并諸神神嘗祭奉幣

次第六月月次祭奉幣ニ同シ



十一月三日

皇大神宮并諸別宮諸神 天長節大御饌 中祭

次第一月歲旦大御饌 = 同シ = 第一鼓 午前四時 第三

鼓 午前六時 但別宮以下 第三鼓 午前七時



二十三日

皇大神宮新嘗祭大御饌 大祭

次第 祈年祭大御饌 同シ 奏樂ハ伶人之ヲ勤仕

二 鼓 午前十時 第一 鼓 午前九時 第一

三 鼓 午前十一時

同日

荒祭宮

瀧祭神

興玉神

宮比神

新嘗祭大御饌



屋乃波比伎神

酒殿神

由貴御倉神

御稻御倉神

次第各祈年祭大御饌ニ同シ

二十四日

月讀宮

月讀荒御魂宮

新嘗祭大御饌

伊佐奈岐宮

伊佐奈彌宮

次第各祈年祭大御饌ニ同シ

二十五日

朝熊神社

朝熊御前神社 新嘗祭大御饌

鏡宮神社

次第各祈年祭大御饌ニ同シ

同日



攝社末社四十七所新嘗祭大御饌

次第各祈年祭大御饌 = 准但皇大神官五丈殿 = 於テ遠祀ス

同日

神服織機殿神社

同末社所八

新嘗祭大御饌

神麻績機殿神社

同末社所八

次第各祈年祭大御饌 = 同シ

二十六日

瀧原宮

瀧原並宮

若宮神社 新嘗祭大御饌

長由込神社

川嶋神社

次第各祈年祭大御饌 = 同シ

同日

伊雜宮



佐美長神社 新嘗祭大御饌

佐美長御前神社 所<sup>四</sup>

次第各祈年祭大御饌 = 同シ

同日

風日祈宮新嘗祭大御饌

次第祈年祭大御饌 = 同シ

二十三日

皇大神宮新嘗祭奉幣 大祭

次第祈年祭奉幣 = 同シ 第一鼓午前十一時 第二鼓正午十二時 第三鼓午後一時

時後一

同日

荒祭宮

瀧祭神

興玉神

官比神

新嘗祭奉幣



屋乃波比伎神

酒殿神

由貴御倉神

御稻御倉神

次第各祈年祭奉幣 = 同シ

二十四日

月讀官

月讀荒御魂宮

新嘗祭奉幣

伊佐奈岐宮

伊佐奈彌宮

次第各祈年祭奉幣 = 同シ

二十五日

朝熊神社

朝熊御前神社 新嘗祭奉幣

鏡宮神社

次第各祈年祭奉幣 = 同シ

同日



攝社末社四十七所新嘗祭奉幣

次第各祈年祭奉幣 = 准ス 但皇大神宮五大殿 = 於テ遷祀ス

同日

神服織機殿神社

同末社 所八

新嘗祭奉幣

神麻績機殿神社

同末社 所八

次第各祈年祭奉幣 = 同シ

二十六日

瀧原宮

瀧原並宮

若宮神社 新嘗祭奉幣

長由双神社

川嶋神社

次第各祈年祭奉幣 = 同シ

同日

伊雜宮



佐美長神社 新嘗祭奉幣

佐美長御前神社 所

次第各祈年祭奉幣ニ同シ

同日

風日祈宮新嘗祭奉幣

次第祈年祭奉幣ニ同シ

十二月十五日

興玉神祭 中祭

次第六月興玉神祭ニ同シ 第一鼓午後一時第二

後三時

同日

御卜

次第六月御卜ニ同シ 第一鼓午後三時第二鼓午

自十六日 至廿五日



皇大神宮并諸別宮諸神月次祭由貴朝夕大

御饌 大祭

次第六月月次祭由貴大御饌 = 同シ

自十七日  
至廿五日

皇大神宮并諸別宮諸神月次祭奉幣 大祭

次第六月月次祭奉幣 = 同シ 第一鼓午後三時第

鼓午後五時但別宮以  
下六月時間 = 同シ

附錄

一月十一日

御饌 皇大神宮ニ於  
テ之ヲ行フ

第一鼓 午前七時

祭主以下參集

第二鼓 午前八時

祭儀ノ諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午前九時

正權主典官掌等忌火屋殿前庭祓所 = 神饌辛櫃

皇大神宮及相殿神諸別宮諸神ノ御料ヲ陳列  
次豐受官及相殿神諸別宮諸神ノ御料ヲ陳列



ス各葉薦  
ヲ敷ク

次祭主大少官司正權禰宜進參

次諸員齊列祭主大少官司正權禰宜北上西面主

典以下辛櫃ニ副從シテ東上南方ニ  
曲折ス大麻御塩所役ノ

次主典一員進テ被ヲ修シ大麻ヲ揮テ神饌及諸

員ヲ清ム權主典一員相副テ御鹽ヲ灑ク次第

大麻ノ如シ豫被所正中ニ大麻ヲ樹テ修被ノ

等辛櫃具ヲ設ク但神饌ヲ清ルノ際主典

次祭主大少官司進テ四大殿南ノ戸ヨリ版ニ著

東上  
北面

次列行

先禰宜一員前行警蹕

次神饌辛櫃主典四員副從

次正權禰宜以下從行

次神饌辛櫃ヲ中重ノ幄内ニ昇入ル葉薦ヲ

次諸員四大殿南ノ戸ヨリ版ニ著ク  
東上北面

先是宮掌同殿ニ神饌奉奠ノ高案二十一脚

ヲ設ク東ハ皇大神宮以下ノ御料西ハ豐

次禰宜二員案前ニ候ス一員ハ皇大神宮御料ノ

前ノ案



次主典二員神饌ヲ次第ニ權禰宜ニ傳フ權禰宜  
之ヲ禰宜ニ傳フ禰宜正官及相殿神御料ノ案  
上ニ陳列シ初獻ノ神酒酒醴四盛ヲ奠シ畢テ版  
ニ復ス

次權禰宜二員荒祭官多賀官ノ御料ヲ奠ス主典  
二員之ヲ傳進ス

次主典二員月讀宮以下八所及瀧祭神土宮以下  
三所ノ御料ヲ奠ス權主典二員之ヲ傳進ス

次權主典二員諸神ノ御料ヲ奠ス官掌二員之ヲ  
傳進ス

次大宮司祭主ノ前ニ到リ祝詞文ヲ請ケ皇大神  
官御料ノ案前ニ進ニ奏シ畢テ版ニ復ス  
次少宮司豐受宮御料ノ祝詞文ニ奏テ前儀ノ如  
シ

次諸員奉拜八度拍手兩端

次ニ獻ノ神酒ヲ奠ス

次諸員奉拜拍手一端

次三獻ノ神酒ヲ奠ス

次諸員奉拜拍手一端

次禰宜以下神饌ヲ撤ス各之ヲ傳フ初儀ノ如シ



次神饌辛櫃ヲ撤ス主典 副從  
 次諸員退テ五大殿ニ著ク祭主以下東上南面 主典以下東上北面  
 先是樂員等同殿西方ノ幄舎ニ候ス  
 次舞人等五大殿ニ進ミ舞樂ヲ奏シ畢テ退下  
 次諸員退下

一月三十日

孝明天皇遙拜 皇大神宮ニ於テ之ヲ行フ

第一鼓 午前六時

祭主以下參集

第二鼓 午前七時

諸具ヲ辨備ス

第三鼓 午前八時

主典官掌各一員太玉串ノ辛櫃ヲ第一鳥居内遙

拜所ニ護送シ同所北方ニ昇居工葉薦ヲ側ニ

候ス西上 南面



次祭主以下進參

次諸員版北上西面所役ノ主典一員宮掌ニ員西上南面

次禰宜一員案前候ス豫正中ニ高案ヲ設ケ葉薦ヲ敷ク

次官掌辛櫃ヲ開ク主典太玉串ヲ取出シテ禰宜

ニ傳フ禰宜之ヲ案上ニ奠シ畢テ版ニ復ス

次祭主大少官司案前ニ進ム

次祭主以下諸員奉拜八度拍手兩端

次禰宜太玉串ヲ撤シ北方ノ版ニ著ク西面豫清

太玉串燒却ノ場ヲ設ク

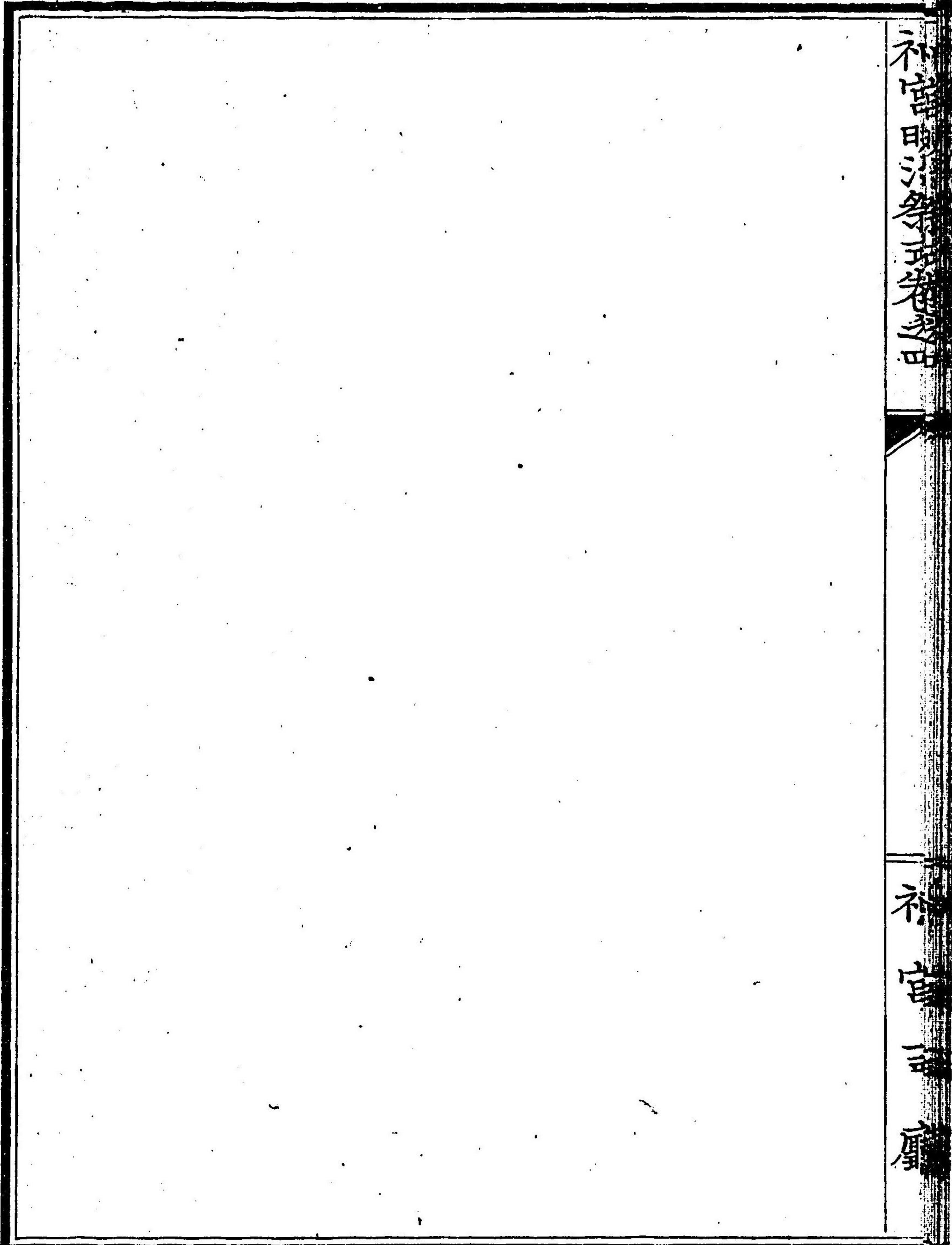
次主典官掌炬火ヲ取り同所ニ著ク南面

次禰宜主典相共ニ太玉串ヲ燒却シ畢テ版ニ復

ス

次諸員退下





一月三十一日

大袂 皇大神宮ニ於テ之ヲ行フ

第一鼓 午後一時

祭主以下參集

第二鼓 午後二時

第一鳥居内被所ノ正中ニ豫高案ヲ立設ケ被物

ヲ置ク又同所ニ大麻ヲ樹テ修袂ノ具ヲ設ク

各葉薦ヲ敷ク

第三鼓 午後三時

祭主以下進參被所ノ版ニ著ク  
北 上 西 面 呼 役 ノ  
主 典 一 員 宮 掌 ニ



員西上南面但賢木ヲ納ル辛櫃  
一合ヲ側ニ置ク葉嘴ヲ敷ク

次宮掌進テ賢木枝各一ヲ諸員ニ分頒ス

次主典進テ袂ヲ修シ大麻ヲ取テ諸員ヲ揮清ム

次諸員賢木ニ氣息ヲ吹移ス

次諸員奉拜一度拍子ニ

次宮掌祭主以下ノ賢木ヲ受テ河流ニ投ス

次宮掌袂ツ物及修袂ノ具ヲ撤シ河流ニ投ス

次諸員退下

三月三十一日

大袂

次第一月大袂ニ同シ  
第一鼓午後一時第二鼓午  
後二時第三鼓午後三時

四月三日

神武天皇遙拜

次第孝明天皇遙拜ニ同シ  
第一鼓午前七時第三鼓午

前八時

五月三十一日



大袂 第一鼓 午後四時 第二鼓 午後六時

後五時 第三鼓 午後六時

六月三十日

大袂 第一鼓 午後四時 第二鼓 午後六時

後五時 第三鼓 午後六時

八月三十一日

大袂 第一鼓 午後三時 第二鼓 午後五時

後四時 第三鼓 午後五時

十月三十一日

大袂 第一鼓 午後二時 第二鼓 午後四時

後三時 第三鼓 午後四時

十一月三十日

大袂 第一鼓 午後一時 第二鼓 午後三時

後二時 第三鼓 午後三時

十二月三十一日

大袂 第一鼓 午後一時 第二鼓 午後三時

後二時 第三鼓 午後三時

次第各一月大袂二同三



神宮明浴祭式卷之四終



